キャラクター名: 小昏 時人（ｺｸﾞﾚ ﾖﾘﾋﾄ）

プレイヤー名:

シンドローム	ブラム＝ストーカー ハヌマーン	ワークス	傭兵	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	20代	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	闘争	初期侵食率	41 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	記憶喪失	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	3			6
感覚	3	0	0			3
精神	2	0	0			2
社会	1	0	0			1

HP	34
行動値	17
(非装備時)	17
戦闘移動	22
全力移動	44

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2	1	射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達		3
運転：	2		芸術：			知識：			情報：軍事	1	1
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
西洋剣	白兵	6r+2	4	+4		
Astronomical Twilight	白兵	9r+3	4	+14		コンセ，吠え猛る爪，音速攻撃，さらなる波，西洋剣／8
Nautical Twilight	白兵	9r+3	4	+14		コンセ，吠え猛る爪，さらなる波，西洋剣／6
Civil twilight		6r		+2		従者の攻撃／15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服		1			

合計装甲：	1	合計回避：	0

所持品	
コネ:噂好きの友人	
コネ:情報屋	
西洋剣	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
黄昏の支配者	P	N		
ローザ・バスカヴィル	P 懐旧	N 悔悟		
自分に似た小さい子供達	P 庇護	N 無関心		
八重樫若菜	P 友情	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	8	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ハヌマーン	2	—	メジャー	—	—	—	2	
効果：	クリティカル値LV減少							
従者の行進	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果：	《赤色の従者》と組み合わせて使用。従者が未行動で現れる。							
赤色の従者	5	5	メジャー	至近	自身	自動	—	
効果：	全ての能力値が3、最大HPが［LV×5+10］の従者を同エンゲージに1体作り出す。従者がシーンに存在する間、判定ダイスを-3個する。							
紅の猟兵	1	5	イニシアチブ	視界	シーン(選択)	自動	リミット	
効果：	従者の判定ダイス＋3個、攻撃力+[LV×2]、1シナリオ3回							
愚者の兵装	2	—	常時	至近	自身	自動	従者専用	
効果：	従者専用アイテムからLV個選択し、そのアイテムを常備化して登場する。【装備】従者の爪、従者の衣							
かりそめの剣士	1	2	メジャー	武器	—	〈白兵〉	従者専用	
効果：	白兵攻撃のダイス＋LV個							
吠え猛る爪	5	2	メジャー	武器	単体	〈白兵〉	—	
効果：	装甲無視ダメージ算出、攻撃力-［5-LV］（最大０）する。							
音速攻撃	3	2	メジャー	武器	—	〈白兵〉	—	
効果：	組み合わせた攻撃ダイス+LV個							
さらなる波	5	2	メジャー	—	—	〈白兵〉	—	
効果：	組み合わせた攻撃力+[LV×2]							
不死不滅	1	4d10	オート	至近	自身	自動	120	
効果：	戦闘不能回復、HP[LV×10]回復、1シナリオ1回							
先手必勝	3	—	常時	至近	自身	自動	—	
効果：	行動値＋[LV×3]、基本侵蝕値＋4							
蝙蝠の耳	1	—	メジャー	至近	自身	自動	—	
効果：	遠くの音から喧噪の中の特定の人の声までよく聞こえるんだ。							
日常の代行者	1	—	常時	効果参照	効果参照	自動	—	
効果：	顔がよく似た日常のお手伝いさん。							

昔、時人にはたくさんの兄弟がいた。父は彼が物心つく前に事故で亡くなり、母はたくさんの子供を育てるために仕事に出ていることが多く、長男である時人にとって年の離れた兄弟の世話は当たり前だった。彼は弟や妹が大好きであったし、彼らもまた彼のことが大好きだった。ある日のこと、1人の妹がオーヴァードとして覚醒してしまい妹がFHの人間に連れ去られてしまいそうになる。時人は愛する家族を守るため無我夢中で抵抗した。妹を諦めきれなかったFHは、彼の家族を徹底排除するために自身らの持つエフェクトを使用した。燃え盛る家、泣き叫ぶ弟達と動かなくなった妹達。
…自分が何とかしなくては。守らなければ。
今にでも愛する妹が連れ去られてしまいそうな状況で、彼は静かに、しかし激しく怒った。その怒りに呼ばれたかのように、彼にも人知を超えた力が宿ったのだ。
時人が次に目が覚めたのはとある病室だった。彼は何も覚えておらず、また人を超えた力を持った代償に彼の世界から色が消えてしまった。運び込まれた病院は幸運にもUGN直属の病院で、自身がオーヴァードになっていることを知り、施設で力の使い方を学ぶ。その合間に色と記憶を戻す治療を何度も受けたが両方とも全くと言っていいほど戻らなかった。自身の名前は辛うじて「より」が付いていたことを思い出すことができたが、家族構成など自分に関わる人間関係や生活サイクルなどは思い出すことができなかった。（弟や妹からはより兄ちゃんと呼ばれていたので「より」だけ覚えていたのだ。）客観的に見れば絶望と形容できる自身の境遇を哀れに思う人間は多くおり、時人はそれにうんざりしていた。しかし、自身をその様な目で決して見ない人物がいた。その人物はローザ・バスカヴィル。彼女は人を使えるかどうかで見ており、時人のことを哀れな目で見ず実力だけで評価していた。時人にとってそれは新鮮なことでありがたく思っていた。しかし、ローザを見ているとなぜか懐かしい気持ちが湧き上がってくる。それが何なのかは分からなかった。
やがてエフェクトが満足に制御できるようになった時人は、彼女から「黄昏」というコードネームを付けてもらう。その時彼女から言われたことがあった。曰く、「あなたにはきっと分からないでしょうが、このコードネームには深い意味があります。この名に恥じない成果を上げるように。」と。よく分からなかったが、このことは誰にも話さない方がいいと思った時人は、その日から「黄昏」と名乗る。

小昏時人は本当の名前ではない。彼の本名は、ヨシュア・レーニエ・トワイライト。トワイライト家はローザの親戚に当たり、無愛想であったローザに優しくしてくれた唯一の親戚である。当然ローザはヨシュアのことを知っており、事件のことも知っている。
小さい頃のヨシュアはよくローザの後を追いかけていた。ヨシュアにその記憶が無くとも、ローザは時折彼の何気ない言動でその面影を思い出す。